

オオタバコガ情報第4号（野菜類、花き類）

令和8年10月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

フェロモントラップの誘殺数が一部地域で多い状況です！ 今後のほ場での発生に引き続き注意してください

本虫については、7月3日付けで令和8年度病虫害発生予察注意報第4号を、10月5日付けでオオタバコガ情報第3号を発表しましたが、フェロモントラップにおける誘殺数が複数地点で多い～やや多い状況のため、引き続き注意が必要です。

1 ほ場における発生状況

10月上旬のキャベツほ場（10地点20ほ場）で行った巡回調査の結果、本虫の寄生株率は0.70%（平年0.68%、前年1.95%）で平年並の状況です。

2 フェロモントラップにおける誘殺状況

県内7地点に設置（野菜または花きほ場）したフェロモントラップのうち、4地点で直近1か月の総誘殺数が多い～やや多い状況です（図）。

- ・南知多町（キャベツほ場）では521頭（平年159頭、前年204頭）と過去10年間と比較して**最も多い**。
- ・田原市（キャベツほ場）では528頭（平年304頭、前年379頭）と過去10年間と比較して**最も多い**。
- ・長久手市（農総試内）では15頭（平年16頭、前年52頭）と過去10年間と比較して**3番目に多い**。
- ・豊橋市（キャベツほ場）では384頭（平年321頭、前年418頭）と過去10年間と比較して4番目に多い（3番目に多い令和5年度の386頭とほぼ同数）。

3 今後の予測

10月15日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと見込まれています。本種の発生に好適な条件が予想されるため、**ほ場における発生が増加する可能性**があります。

4 被害と防除対策

- （1）茎、花蕾、果実及び**キャベツ等の結球部**に食入した幼虫や、発育が進んだ幼虫には薬剤の効果が著しく低下するため、若齢幼虫のうちに薬剤防除しましょう。

参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)

- （2）被害部位の残渣は、卵や幼虫が付着している可能性があるため、放置せず適切に処分しましょう。

- （3）施設栽培では、開口部に防虫ネットを張り成虫の侵入を防ぎましょう。

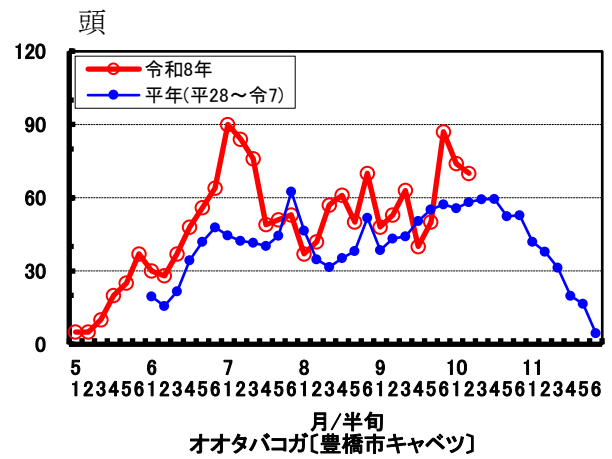
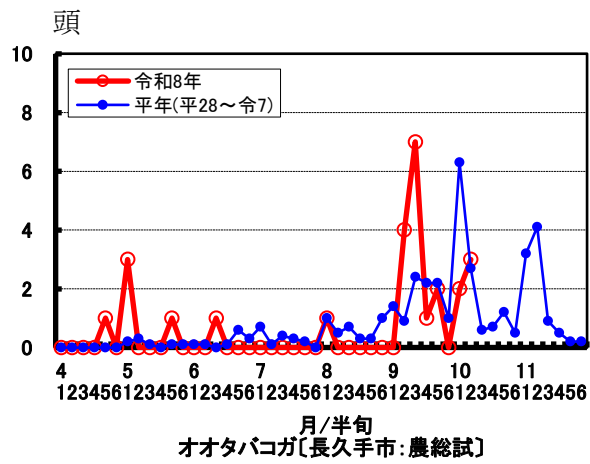
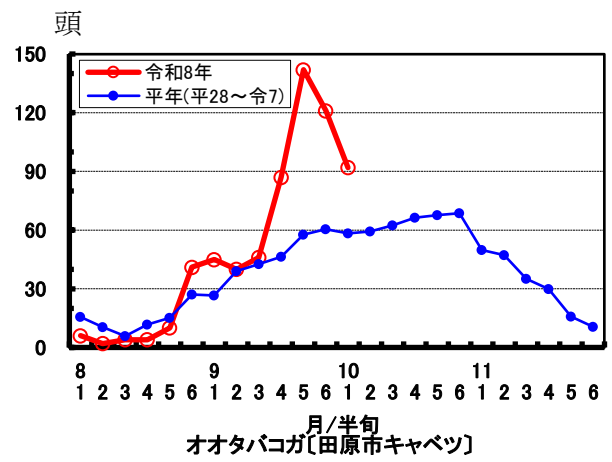
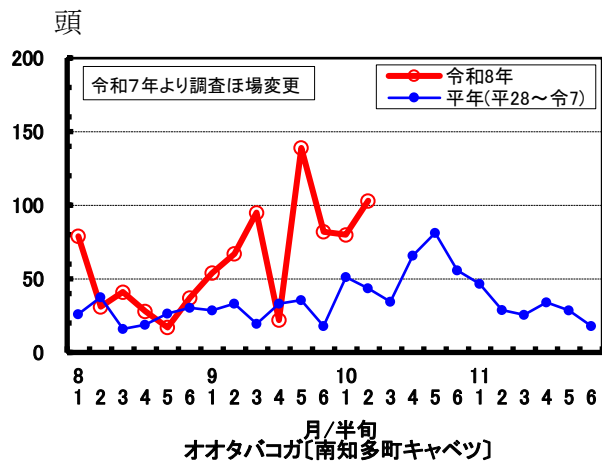


図 フェロモントラップにおけるオオタバコガ成虫の誘殺状況